

## 吉野川を釣る！



(吉野川河口 阿波しらさぎ大橋を望む)

あけましておめでとうございます。さすらいの釣り人系河川管理者のNです。趣味のルアーフィッシングを通じて、吉野川流域の素晴らしさを皆様にお伝えできればと思います。

私は、ルアーでいろいろな魚を釣ることを趣味としていて、現在までに270種ほどの魚（淡水・海水・軟体動物含む）を釣っています。

今回、徳島に本当に久しぶりに勤務することとなりましたので、「吉野川でルアーにより何種類釣れるのか」に挑戦してみたいと思います。

現在2種達成ですが、今回は何種類釣れるでしょうか？

<吉野川河口での挑戦【秋編】>



今回も釣り場は、吉野川の河口付近。今回は、今話題となっている。ハゼクランクに挑戦です。

ハゼクランク略してハゼクラとは、ハゼ用に作られたクランクベイト※（バス用クランクベイトの小さなもの）を使ってマハゼを釣ることで、身近な道具で簡単に釣れるということで今いろいろなところで話題となっています。私も初めての挑戦です。というのも今までの勤務地では、マハゼが沢山釣れるところなかったからです。

吉野川は、ファミリーハゼ釣り大会が10月に開催されていますので、その頃に河口で狙ってみることにしました。

※クランクベイト：丸い小魚のようなシルエットのルアー

用意したルアーは写真下のとおり、①ハゼ用クランクベイト、②バイブレーション、③ジグヘッド+ワームの3種類です。



- 今回のルアー達（左）
- 今回は、マハゼを釣るために針を自作（右）  
〔小アジ針7号に目立つよう赤い糸で製作〕

どんなところで釣れるのかよく分からなかったのですが、ルアーを追って来るところが見えるのが魅力と雑誌に書いてあったので、河口の砂底の浅いところでやってみることにしました。

ワンド状（池状の入り江）になったところで1投しては移動という感じで、探っていくと足下5m程度のところでガツンと当たりがあり、ぐいぐい引きます。これはハゼではないと慎重にやりとりするも凄い引きでラインがどんどん出ていきます。メインラインが0.3号リーダー1号なので無理は出来ません。

10分ほど出したり巻いたりを繰り返していると、さすがに疲れたのか少しずつ近寄ってきました。しかし、ハゼ釣りのつもりでネットもギャフ（魚を引き上げるため、先端に鉤をつけた棒）も持って来ていません。焦りながらもさらに弱らせリーダーで砂浜にズリ上げました。50cmもある立派なクロダイでした。



▲クロダイ▲

キチ又は、ルアーで良く釣れるのですが、クロダイはなかなか釣りにくく、私の2番目の記録であったのでかなり嬉しくて、写真を撮りまくってしまいました。

その後も、当たりが続きましたが針を折られたり、延ばされたりとキャッチすることは出来ない状況が続きます。というのも針は、マハゼ用に小アジ針7号（すっごく小さくきらきら光る針）で自作したものでしたので仕方がありません。



【砂州を歩いているとウミナナ類が沢山いました】

今日の目標は、マハゼなので針交換はせすにがんばります。

そのうち、マハゼのポイントに入ったのがマハゼが、後ろから追っかけて来るようになりましたが、なかなか口を使ってくれません。ゆっくり巻いてみたり、途中で止めてみたり、アクションを入れてみたりとかいろいろやってみますが、1時間ほどくやしい時間が過ぎていきます。

砂州の先端までいったところで待望の当たり、大合わせをすると途中で魚が外れ、後方遠くまで飛んでいきました。大喜びで探しに行くとなんだか変です。

待望の当たりで釣れたのは、マハゼではなくなんとちいさなちいさな10.5cmのコトヒキでした。がっくり……………

この魚は、関東以南に生息し、四国では南に多く河口域では割とポピュラーに釣れます。ルアーにも良くアタックしてくれるので小さなミノー（小魚の形に似た細長いルアー）で狙うと面白い対象魚。



▲コトヒキ▲

気を取り直して、キャスト（仕掛けやルアーを投げ込むこと）を繰り返しますが、追いかけては来るのですが、なかなかアタックしてくれません。

あきらめずに、1時間ほどキャストを続けると、とうとう来ました。14cmのマハゼです。やりました。手作りした小アジ針7号をばっかり喰っています。



▲マハゼ▲

この日は、これで満足して終了としました。でも思ったよりはマハゼは釣れなくてポイントが違っていただけなのか、時期が違ってサイズが小さすぎたのか？まだまだ修行が必要のようです。

しかし、この場所ではクロダイはかなり当たりもあり、キビレチヌも狙えそうですので、次はクロダイ・キビレチヌ狙いで、狙ってみたいと思います。

秋は、イカ、青物（ブリ・サワラ）等、いろいろ釣れる時期なので狙いが絞りにくいのが困りものですが、みなさんも釣りに行って下さい。

今回、3魚種ゲット。通算5魚種となりました。次は何を狙おうかな？



<タックルデータ>

ロッド：メバルロッド 8.6 f (約 2.5m)  
 リール：ダイワ 2000 番  
 ライン：PE 0.3 号  
 リーダー：700かボツ1号  
 ルアー：ラッキークラフト ディープクワレ<sup>®</sup>-3.3g

今回は、こんなところで釣りました。



釣り人Nのお魚紹介コーナー

<マハゼうんちく>

スズキ目 ハゼ亜目 ハゼ科 マハゼ属 マハゼ

棲んでいるところ：東アジアの内湾や汽水域の浅い砂泥地、日本では、北海道から種子島まで分布

地方名：ハゼ、カジカ(宮城)、カワギス、グス(北陸地方)、フユハゼ(浜名湖)、カマゴツ(鳥取)ゴス(島根)等

大きさ：通常 15cmほどだが25cm程に達するものもいる。

食べているもの：肉食性が強くゴカイ、甲殻類、貝類、小魚をどん欲に補食。まれに藻類。

食べ方：天ぷら、唐揚げ、刺身、煮付け、甘露煮。焼き干しにして出汁とするとところもある。私は、素揚げにして三杯酢で食べるのが大好き 旬は秋

・似ている種類としてハゼクチがいてこの種類は、50cmを超える。有明海と八代海だけに分布し、投げ釣りファンがわざわざ九州まで行って狙っている。

<クロダイうんちく>

スズキ目 スズキ亜目 タイ科 クロダイ属 クロダイ

棲んでいるところ：東アジア沿岸域の内湾に多い。

大きさ：全長は、最大70cmを超えるが良く漁獲されるのは、30cm前後。

食べているもの：小魚や甲殻類、貝類などを主に食べるが、悪食でスイカやとうもろこしで釣ることもある。

食べ方：刺身、洗い、塩焼き、煮付けなど。私は、少し磯臭いのでたいていは、リリース。 旬は夏

・成長によって性転換する魚。2-3才際までは、オス。4-5才になるとメスになるとされる。性転換する魚は、他にも沢山いるよ！

※クロダイ属のキチヌとは腹びれや尾びれが黄色いことで区別出来る！徳島では、チヌと呼ばれる。

<コトヒキうんちく>

スズキ目 スズキ亜目 シマイサギ科 コトヒキ属 コトヒキ

棲んでいるところ：南日本、インド、太平洋域。四国では瀬戸内海以南

大きさ：40cm以上になるが、河口域にいるものは20cm未満が多い。

食べ方：塩焼き、煮付け、刺身、フライ。白身でいろいろな料理に使えるが、大きなものが少ない。 旬は夏

・釣り上げるとグウグウと鳴く。その音が琴の音に似ているからコトヒキとなったと言われる。

・幼魚のときは、ほかの魚のうろこを剥がして食べるという珍しい習性を持つ。

※シマサギ科の魚は良く似ている！